

研究課題名	体積豊かな後継雌牛育成技術の確立		
予算区分	県単 (8,868千円)	担 当	飼養技術研究室 生産性向上研究グループ
研究期間	継 続 (平成29～33年度)	協 力 関 係	特になし
研究目的	<p>岡山県において、和牛の飼育マニュアルは8カ月齢までの哺育・育成期と35カ月齢以降の繁殖牛については策定されているが、8カ月齢以降の発育期から初産分娩までと初産分娩後から発育が止まる35カ月齢に関するマニュアルはない。</p> <p>年々、肉用牛の飼養戸数は減少しているが、新たに繁殖雌牛を飼養し子牛を自家生産する肥育農家や、自家保留牛により繁殖雌牛の増頭に取り組む繁殖農家が増えており、後継雌牛育成に関する新たなマニュアルの作成が求められている。</p> <p>そこで、発育良好な後継雌牛を育成するための適正な飼料給与水準を血液分析を用いて調査し、優良後継雌牛の育成技術を確立することで、素牛として価値の高い子牛の安定的な生産を目指す。</p>		
全体計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 後継雌牛育成方法の実態調査 2 飼料給与試験 3 後継雌牛育成マニュアルの作成 		
研究対象	肉用牛・飼料	専門部門	飼養管理
<p>○ 本年度試験のねらい</p> <p>飼料成分改善について検討する。</p> <p>試験1 飼料成分改善試験</p> <p>〈時 期〉 平成31年(2019年)4月～平成32年(2020年)3月</p> <p>〈試験の内容〉 前年度からの血液生化学検査の結果を基に改善した飼料給与により、正常な血液生化学検査値を示すかを検討する。</p> <p>○ 前年度までの成果</p> <p>慣行法ではタンパク質関連項目(BUN)が16カ月齢以降で、公表されている適正範囲より低下する傾向があり、タンパク質不足が推察される。また、βヒドロキシ酪酸の値が全ての月齢で適正範囲より低下していることから、粗飼料多給の可能性が考えられる。</p> <p>○ 既往の関連成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 繁殖成績の向上に必要な肉用雌牛の育成技術(岡山県和牛試験場研究報告第40号) <p>育成期間中、DG0.30～0.50kgの発育で粗飼料多給型の飼養管理をした場合、DG0.7kgの発育で飼養管理した場合と比べ、初産段階において繁殖成績は劣るが、産次を経るにしたがって繁殖成績、哺乳量、子牛の発育は良好となった。</p> 2 肉用雌牛の生産性向上のための育成期における飼養管理技術(山口県畜産試験場研究報告第9号) <p>育成期をDG0.5kg/日として粗飼料多給とした場合、濃厚飼料多給より授乳量が少なかったものの、母牛の発育や産子の発育に差はなく、2産次以降の分娩月齢も優れており、生涯生産性を考慮すると、最も生産性の高い育成方法だと考えられた。</p> 3 肉用雌牛の生産性向上のための育成期における飼養管理技術(島根県立畜産試験場研究報告第22号) <p>増体の早い区は体格部位の発育も骨格の発育も早かったが、脂肪の蓄積が多かった。また、飼料中の粗飼料割合が高い方が分娩後の泌乳量が多く、子牛の増体量も大きかった。</p> 			

体積豊かな後継牛育成技術の確立

背景と目的

和牛繁殖農家が増頭・規模拡大
肥育農家が和牛の繁殖を開始
和牛繁殖経営を始めた新規就農者

生後8カ月齢から35ヶ月齢に関する
マニュアルはない。

マニュアルを作成！

過肥を防止
したい！

後継牛を
大きくしたい！

大きい子牛を
産ませたい！

早く・長く活躍
してほしい！



試験の内容

(1) 後継雌牛育成方法の実態調査

8カ月齢から35カ月齢までの後継雌牛の血液成分の推移について、
代謝プロファイルテストを用いて実態調査し、基準値を設定する。(県有牛活用)

(2) 飼料給与試験

(1)に基づき、適正な濃厚飼料給与水準について試験する。

(3) 後継牛育成マニュアルの作成

(1)～(2)に基づき、後継雌牛育成マニュアルを作成する。

※代謝プロファイルテスト…摂取した栄養と体の発育や生産に利用されるものの
バランスを血液成分値の測定によりチェックすること。

期待される効果

後継牛育成マニュアル作成

効率的に優良後継雌牛を育成

- ・生産基盤強化
- ・分娩事故の減少
- ・子牛の市場価値向上



審査成績			
項目	標点	減率	測定値
体積	18	19	体高 134.0
前軀	6	15	十字部高
中軀	12	13	体長
後軀	14	19	胸囲 190.0
肉厚測定点	41	46	胸深 69.0
均称	12	18	胸幅
肢蹄、歩様	6	20	尻長 54.0
品位	12	19	腰角幅
胴頸	5	20	かん幅 49.0
産質	8	18	坐骨幅
乳徴	7	20	体重
種牛性徴点	40	52	栄養度 6
標点	82	0	月齢 21ヶ月

審査成績			
項目	標点	減率	測定値
体積	18	22	体高 123.4
前軀	6	20	十字部高
中軀	12	16	体長
後軀	14	22	胸囲 173.5
肉厚測定点	39	84	胸深 65.0
均称	12	21	胸幅
肢蹄、歩様	6	22	尻長 50.0
品位	12	19	腰角幅
胴頸	5	22	かん幅 45.0
産質	8	19	坐骨幅
乳徴	7	20	体重
種牛性徴点	39	86	栄養度 7
標点	79	7	月齢 24ヶ月